東社協ふくしだより

2020年（令和2年）7月　No. 116

TEL 082-263-8443
FAX 082-264-9254
E-mail higashi@shakyohiroshima-city.or.jp

社会福祉法人 広島市東区社会福祉協議会/広報委員会
〒732-8510 広島市東区蟹屋9-34 東区総合福祉センター4階

詳しくはホームページをご覧ください
https://shakyo-hiroshima.jp/higashi/
広島市東区社会福祉協議会 検索

中山地区社協の取り組み紹介

「住民一人一人を大切にする安心・安全な支え合いのまちづくり」

中山福祉センターを活動拠点に、福祉のまちづくりに取り組まれている中山地区社協の松浦 薫会長、西野 忍事務局長、柿木明雄事務局次長に話をお聞きしました。

まち歩きの様子

「防災マップ作成説明会」の様子

Q 中山地区のイチオシの取り組みを教えてください。

ご活用ください

A それは、町内会ごとに作成した『わが町防災マップ』の取り組みです。中山にいる防災士4名を中心に企画し、マップ完成までは約2年かかりました。実際に各町内会で町内の隅々まで歩き回り、崖崩れや側溝・水路の氾濫危険な場所を確認し、マップに落とし込みました。

完成したマップは、全戸配布しています。町内会に加入していないマンションの方からもマップがほしいと言われたことは、防災士としてはとても感動的な出来事でした。防災をきっかけに、地域でつながりができ、町内会にも加入していただけるとさらに嬉しく思います。新たに2名が防災士の資格を取得し、現在は6名で活動に励んでいます。

こうして21の全ての町内会にそれぞれのマップが作成できたのは、日頃から地区社協と町内会が一体となって活動ができている、中山の強みの一つだと思います。

この広報紙は（一財）多山報恩会の助成金及び赤い羽根の共同募金の配分金により作成しました。

中山地区社協の取り組み紹介

「住民一人一人を大切にする安心・安全な支え合いのまちづくり」

Q 今だからこそ、みなさんに伝えたいことはありますか？

A 今年も3月中旬に中山川の桜並木の草刈り清掃を町民ボランティアと高速道路5号線工事関係機関のみなさんで行いました。

約40名が積極的に参加され、見る見るうちにきれいになりました。4月の初旬に桜の花が満開になると、コロナ禍でどこにも行けない家族が訪れ、桜並木の間に見える新幹線の車両を眺めながら楽しそうにしていたので嬉しくなりました。5月初旬になると、中山川に「カルガモ親子」が訪れ、可愛らしい姿に心が癒されます。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、大規模なイベントは中止にせざるを得ない状況ですが、このような時だからこそ、隣近所のつながりや気にかけ合える関係性がとても大切であることを改めて感じています。いつ、なにが、どこで起きるかわからない今日、ぜひ一人一人に地域とのつながりを意識していただきたいです。

中山地区社協は、今後も構成団体である21町内会と19の各団体と協力しながら、『住民一人一人を大切にする　安心・安全な支え合いのまちづくり』を目指して活動に取り組んでいきます。

広島市生活支援体制整備事業

（連載企画）

生活支援コーディネーターの想い

「地域づくり」と「助け合い活動」を“応援”するために平成29年度から広島市全区に1名ずつ生活支援コーディネーターが配置され、活動しています。

今回から連載企画として、生活支援コーディネーターの活動などを紹介しています。

エピソード１

「サロンってなに…？ ～それぞれがすてきな活動～」

昨年8月、温品にあるマンション内の集会所で活動されている「もみじ会」さんから、「講師を紹介してほしい」という相談がありました。

始めた経緯などを伺う中で、「どうやったらサロンになるの…？」という疑問が出ました。「サロンに条件や決まりはありません。仲間を募り、会を立ち上げ、継続して集まる機会を設けている。それこそがサロンです！」とお話をしたとき、驚いておられました。一生懸命だからこそ、参加者に楽しんでもらえるようにと頭を悩ませることもあると思いますが、今の活動自体がすてきな活動だということに気づいていただくことができました。そして、みなさんとお話をしていると笑いが途絶えない！！ 世話人さん自身が楽しむことが大事であることにこちらも改めて気づかされました。

新型コロナウイルスの影響で活動を休止されていましたが、6月から感染症対策を講じた上で再開されました。自粛中の生活や想いを話し、直接会って、話して、笑い合えることの喜びを実感しました。

また、「令和2年度　地域高齢者交流サロン運営事業補助金」を申請し、無事選定されました。これから補助金も活用しながら必要な備品等を揃え、さらに活動の幅を広げていかれる予定です。

生活支援コーディネーターの役割
「地域のお宝さがし」「活動の見える化」

弁護士無料法律相談のお知らせ

広く住民の日常生活上の相談に応じ、適切な助言、援助を行い、お悩みや問題を解決することを目的として弁護士による法律相談を開催します。（予約制）

日　　時	令和２年８月１９日(水)１３:００～１６:００
場　　所	東区総合福祉センター4階(東区東蟹屋町9－34)
相談内容	親子関係、多重債務、破産、離婚、相続など
相談時間	１人３０分
定　　員	６人(東区在住の方が優先です)
申 込 先	東区社会福祉協議会へ電話またはＦＡＸ
申込開始	令和２年７月２２日(水) 8:３０から
そ の 他	代理人による申し込みは、ご遠慮ください。 受付後「法律相談予約受付票」をご提出いただきます。 ※内容によってはお受けできない場合もあります。

この広報紙は（一財）多山報恩会の助成金及び

平成31年度決算

収入の部	(円)
会費収入	1,083,000
寄付金収入	96,000
市社協補助金収入(共募含む)	48,559,092
助成金収入	500,000
受託金収入	11,307,738
受取利息配当金収入	140
その他の収入	159,972
サービス区分間繰入金収入	1,245,023
前年度繰越金	8,421,192
合　計	71,372,157

支出の部	(円)
法人運営事業	39,669,843
企画･広報事業	396,474
部会･委員会事業	32,995
広島市東区地域福祉センター指定管理事業	5,320,105
地区社協育成事業	8,411,169
役職員研修事業	147,826
高齢者･障害･児童福祉事業	687,597
共同募金配分金事業	513,537
ボランティアセンター事業	1,643,271
自立支援相談援助事業	153,000
障害者(児)社会参加支援ガイドヘルパー派遣事業	5,814,738
貸付事務事業	243,765
次年度繰越額	8,337,837
合　計	71,372,157

令和２年度事業計画

地域共生社会の実現に向けて、行政や包括支援センター、地区社協等との相互連携を進め、地域課題解決の仕組みづくりや情報発信等、これまで以上に地域活動を積極的に支援していきます。

1,福祉のまちづくりを進める活動を推進します

(1)小地域福祉活動の推進
- ･地域福祉推進第8次計画の策定
- ･「近隣ミニネットワークづくり」「ふれあい･いきいきサロン設置」「地区ボランティアバンク活動」支援及び介護予防･日常生活支援総合事業による福祉のまちづくり推進･福祉のまちづくりﾌﾟﾗﾝ策定支援等

(2)福祉教育の推進
- ･学校、地区社協等の福祉体験学習協力･青少年福祉活動体験事業の実施･地域の担い手育成策との連動推進等

(3)外部組織との連携･共同による推進体制の整備
- ･行政等との連携による協議体ほか、地域支援における体制整備推進等

2,多様な市民活動を応援します

(1)ボランティア活動の推進
- ･多様なニーズに沿ったボランティア養成と活動の開拓等

(2)活動の組織化と関係性づくりの支援
- ･自主的活動推進への協力と関係団体間でのネットワークづくり推進等

(3)住民主体の取り組みにおける活動体制への協力･支援
- ･活動推進に向けた体制整備への協力･仕組みづくり等

3,一人ひとりの暮らしを受け止め、つなぎ、ささえます

(1)相談援助機能の強化
- ･生活困窮者自立支援事業/緊急一時食品提供事業との連携･協力等

(2)権利擁護の推進
- ･総合相談事業/福祉サービス利用援助事業･成年後見事業との連携･協力等

(3)支え合いの輪づくりの支援
- ･当事者等の主体的活動･行事支援等

(4)新たな地域の仕組みづくりの推進
- ･子育て関連活動への支援等

4,東区の地域特性を反映した独自事業推進ほか
- ･ひとり親世帯/在宅介護者/障害児者団体の活動　･行事支援等
- ･区社協自主財源による地域活動助成　･広報紙発行/地域交流行事開催支援
- ･東区社協財源による活動助成　･東区地域福祉センター指定管理
- ･障害者児ガイドヘルパー派遣事業　･災害時対応に関する研修の実施

賛助会員を募集しています！

東区社会福祉協議会では、誰もが住みよい東区の実現に向けた、地域の取り組みを支援しています。

平成31年度は皆さまからいただいた会費を財源に、東区障害児親子教室『ちゃいちゃいくらぶ』を開催しました。障がいのある子どもたちが、親子だけでは体験できない活動を通して、仲間やとボランティアー緒に楽しむことができました。ありがとうございました。地域の福祉活動を継続するための安定した財源確保に向け、引き続き賛助会員を募集しておりますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成31年度の賛助会費総額
558,000円

個人会員	団体会員	団体会員(病院など)
一口 1,000円	一口 3,000円	一口 10,000円

※何口でもご加入いただけます。

郵便振替口座　01380-6-77585
社会福祉法人　広島市東区社会福祉協議会

東区障害児親子教室
『ちゃいちゃいくらぶ』

賛助会員ご入会ありがとうございます。

個　人

【上温品】桑原りえ　松谷幹雄　田原勝行　【温品】大武房枝　高橋めぐみ　【中山】泉尾美津子　川上寿子　吉田恵子　池本真二　中西敏雄　西野忍　柿木明雄　岩崎由美子　古谷結美　岡田宏子　松浦薫　【戸坂】村田耕治　【牛田新町】古川平三郎　平田幸壮　大佐古理壮　保田紀昭　佐藤富子　木下百合枝　森岡俊子　野村登美子　笠井二郎　尾上進　山田敬子　栗屋悦子　【尾長】池田嘉文　江口真紀　清水一夫　小川真由美　太田操　鴨下康子　山本真樹　桑野恭彬　田村辰生　原田幹太　藤井正士　新長静夫　石田三枝子　石津敬三　上原周二　上原敬子　面田耕三　【矢賀】山本和登　山田正一　大田正憲　石本民子　飯田進　【その他】眞田幹雄　円奈勝治　匿名20名

団　体

中山女性会　東区タイムボランティアふれあい　特定非営利活動法人ふりーす　NPO法人お年寄りの家ことぶき　矢賀新町町内会　矢賀新町南組町内会　東山町内会　矢賀二丁目町内会　広島市登録者要約筆記勉強会　曙町内会　株式会社青空　人工内耳友の会ACITA広島支部

令和2年1月11日～6月末日(敬称略)

赤い羽根共同募金にご協力いただきありがとうございました。

平成31年度も全国統一スローガン「じぶんの町を良くするしくみ」のもとで、募金運動を展開いたしました。平成31年度、東区では8,483,173円の募金をいただきました。募金運動にご協力いただきました、区民の皆さま、関係機関並びに施設団体等の皆さまに厚くお礼申しあげます。

皆さまからお寄せいただきました募金は、地域の福祉活動の他に大規模災害時の被災者支援活動に活用させていただきます。今後ともご理解･ご協力のほどよろしくお願い申しあげます。

じぶんの町を良くするしくみ　赤い羽根共同募金

が赤い羽根の共同募金の配分金により作成しました。

東区ボランティアグループ連絡会
加入グループを紹介します！！

JR広島病院
ボランティアグループ

スマイル

私たちは平成１５年に結成された、ＪＲ広島病院の患者さんを支援するボランティアグループです。メンバーの家族が地域の病院をきれいにしようと、病院の庭の清掃や手入れを行ったことがきっかけで、その後 活動希望者が集まり、ボランティアグループを結成しました。

主な活動は、毎週月・水・金曜日に担当を決めて行う外来通院患者さんの受付・案内、車いすの介助です。その他、毎週土曜日に緩和ケア病棟に生花や観葉植物を飾る活動や、図書コーナーと車いすの整理などを行っています。

入院患者さんからは「季節を感じられる」といった喜びの声、病院スタッフの方からは「自分たちでは普段気づかないことをしてくれる」と評価していただいています。

１０年以上通院される方もいらっしゃり、その方々をはじめいろいろな方から「あなたたちを見たら安心する」と言われ、そんなときにやり甲斐を感じています。

皆さんも一緒に活動してみませんか？
活動に関心のある方は、東区社会福祉協議会へお問い合わせください。

～自分たちでできる防災について考えてみませんか～

平成30年7月豪雨の被災地域から

当時、現地に同行いただきました広島市防災士ネットワーク東区世話人の野村克己さんにお話を伺いました。

豪雨災害から学んだ最も重要なことは、「近隣で助け合うことの大切さ。」だと話されました。

助け合いのシステムを作ることも大切ですが、システムを活かすため、日ごろから近隣に住んでいる人のことを気にかけるなど小さな見守り活動が災害時に必要な助け合いにつながるとのことでした。

また、地域によっては町内会単位で防災訓練を実施するなど、災害に備えて、啓発活動をされているところもあります。お話を伺って、日ごろのから「つながり」が防災の要だと改めて感じました。

「防災コーナー」はじめました！

東区社会福祉協議会では、平成30年7月豪雨から学んだことを活かせるよう、7月を防災月間とし、防災コーナーをはじめました。

「災害を風化させない」、「防災について考える」をテーマにパネルやメッセージボードを展示しています。

「新しい生活様式」が示され、私たちのくらしは様変わりしています。新たな防災対策や備えについて、一緒に考えてみませんか。

この広報紙は（一財）多山報恩会の助成金及び赤い羽根の共同募金の配分金により作成しました。